

71期生 進路だより

No. 14

『暑さなんかには負けてられない・・・』

進路について考える⑦

就職について知ろう

次の文章は私(出口)が以前勤めていた中学校3年生のある組の学級通信に載っていたものです。その担任の先生が昔、堺市内の中学で担任をしていた生徒の思い出について書かれていたものです。

進路のことについて大切なことが書かれていたので、71期生の人にも是非読んでほしいと思いました。そこでその先生とIさんの許しを得て転載させていただきました。

I君は、今は二児の父親でバリバリ働き、家庭も大切にしている。

彼は、中学に入学する時に0中に転校してきた。中三で僕のクラスになった。サッカーで勉強もがんばる生徒で、前期の学級代表に自ら立候補してくれて、僕をよく助けてくれた。僕が学校をあけるときは、彼に頼んでおけば安心だった。

第1回進路希望調査をおこなったとき、36人分をめぐりながら、「アレ、なんでや」と思った。I君は、就職のところには〇をつけている。他の35人全員は高校進学希望である。

彼がふざけて書くわけがないので、さっそく懇談をして、なぜ就職希望なのか聞いてみた。「家は父も母も働いているが貧乏だ。妹も弟もいるので、長男の自分は働いて親を助けてやりたい。できれば妹や弟は高校に行かせてやりたい。」という。僕はびっくりした。ここまで、真剣に、しっかり考えていることに！

「今すぐ就職と決めなくてもいいではないか。これから一緒に考えていこう」と前おきして、奨学金制度の話もし「新聞配達もあるから、なんとか高校に行ける方法をさがそうよ」といった。僕は彼を高校に行かせてやりたかった。その後何回か話し合ったが、彼の決意は変わらなかった(彼は鳳高校に合格できる学力はあったのに)。

10月中旬になり部活を引退したあと、クラスで早朝(7:30～8:20)や放課後に勉強会をやった。強制ではなかったがIくんは毎回参加し、自分も勉強するとともに、できなかった生徒に一生懸命に教えてくれた。誰もが彼が就職するということを知っていた。そして、誰もが心の中で「Iはえらい奴や」と思っていた。

いろいろと検討した結果、関西電力の下請けである近畿電機(今のキンデン)の入社試験を受けることにした。全寮制で夕方まで働き、会社内に定時制高校があり、がんばれば高校卒の資格がとれる。かなりの倍率であったが、彼が落ちるはずはなかった。

入社試験の日は雨が降って寒かった。僕は授業を振り替えて二人で行った。恵美須

町駅を出ると通天閣が見えた。「がんばってな！」と試験場におくり出した光景を今でもはっきりと覚えている。その時「こんな生徒こそ高校に行かせてやりたいんだ。」と心の中では思っていた。くやしかった。とても残念だった。

会社は兵庫県の伊丹市にあった。仕事をしながら夜学(定時制高校)で勉強するのは考えていた以上にきつかったようだ。何度か夜おそくに家に電話がかかってくる。しんどくてくじけそうになった時にかけてくるんだなということが電話から伝わってくる。昼、電柱などの補修工事をする。夏は暑くて汗びっしょり。冬は寒さでこごえそうの中で仕事をする。そして、夜は勉強だから大変だ。

やさしい言葉をかけてやりたいが、僕はいつもそっけない対応しかしなかった。今の彼が自分で乗り越えていかねばならないのだと。変な同情は逆効果ではないかと思った。

立派な社会人に成長し、時々連絡をくれ、僕を励ましてくれている。僕は今でも彼を尊敬している。彼のような生徒を担当できたことが誇りである。

中学校を卒業してすぐに就職するということは、進学する人より一歩早く実社会の厳しさに身をおくことです。文中のIくんのように、強い決意をもっている人でも時にはくじけそうになるものです。だからこそ、様々な角度から検討を加え、その上に決心したなら「絶対にがんばる、くじけない」という強い気持ちをもって一人前の社会人、職業人として活躍してほしいものです。

「勉強がいやだから、就職でもするわ」という安易な気持ちでの就職は絶対避けてほしいものです。

【就職を巡る状況】

景気が回復してきたといわれていますが、まだまだ中卒者の求職状況には厳しいものがあります。中卒者の場合は、知識や技能の面でどうしても不利な立場にあるので、職種も限られてきます。でも、本人の意欲と努力によって、いろいろな技能・技術を修得すればそれぞれの事業所(会社)の第一線で活躍することもできます。

【就職するには】

中学卒業後、就職するには二つの方法があります。一つはハローワーク(公共職業安定所)を通じて就職する方法(I君も職業安定所を通して就職しています)。もう一つは知り合いのところで雇ってもら(縁故就職)、あるいは家の仕事につくという方法です。職業安定所を通すと、就職後、給与や勤務条件などでトラブルがあった時に解決しやすいという利点があります。

【働きながら学ぶ】

中学卒業後、働きながらも、高等学校で学ぶことができます。NO.12で紹介した定時制や通信制の学校で学ぶということです。もし、就職を考えているのなら、併せて定時・通信制の高等学校を通して、学び続けて行くことを前向きに考えてください。また、自分が就職する事業所が定時制高校への進学に対して理解があるかどうか、就職先を決める時の判断の一つにしてください。

学校説明会・体験入学について

公立高校の学校見学会・体験授業は、案内が送られてきたら、進路便りで紹介します。見落とさないようにしておいてください。

(裏面に続く)